

2023年10月23日作成

Ver.1.0

急性陰嚢症の発症要因に関する検討

1、研究の目的と意義

急性陰嚢症は陰嚢が急に痛む病状であり、その主な原疾患には精巣捻転症や付属小体捻転症、精巣上体炎等があります。このうち、精巣捻転症は診断や治療が遅れることで、精巣が虚血壊死を起こし、最悪の場合には精巣を摘出せざるを得ないこともあります。

本研究の目的は、当院で急性陰嚢症に対する手術療法を受けられた患者さん方を対象とし、その治療過程で得られた医学的情報を検討することで、急性陰嚢症の原疾患、とりわけ精巣捻転症の有無を明らかにすることです。今回の研究により、急性陰嚢症を引き起こす原疾患の診断や治療に有益な情報が得られると考えられます。

2、対象となる患者さん

2013年6月1日から2023年3月31日の期間に、長崎大学病院で急性陰嚢症に対する手術加療を実施された患者さん方を対象とします。

3、研究の方法

長崎大学病院で急性陰嚢症に対する手術加療を受けられた患者さん方の日常診療で得られた医学的情報を後方視的に検討し解析します。

4、研究に用いる医学的情報

- 背景(年齢、性別、身長、体重、歩行状況、バイタルサイン)
- 既往歴、生活歴、家族歴、服薬歴、アレルギー歴
- 検査結果(血液検査、尿検査、内分泌学的検査、画像検査、病理組織学的検査)
- 治療内容(手術加療)
- 治療有害事象内容
- 治療経過

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2023年10月31日まで。

本研究は研究機関長の許可日より「4、研究に用いる医学的情報」を利用する予定です。

6、外部への試料・情報の提供

該当なし。

7、研究実施体制

本研究は長崎大学病院のみで実施します。

《研究責任者》

長崎大学医歯薬学総合研究科 泌尿器科学 教授 今村 亮一

8、お問い合わせ先

長崎大学病院 泌尿器科・腎移植外科 原田 淳樹

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7340 FAX 095（819）7343

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）